

令和2年度中央アルプスにおけるライチョウ野生復帰事業への
飼育下有精卵の提供について

令和2年6月5日

(公社)日本動物園水族館協会
生物多様性委員会委員長 佐藤 哲也
ライチョウ計画管理者 秋葉 由紀

「第二期ライチョウ保護増殖事業実施計画」に基づき、令和2年度中央アルプスにおけるライチョウ個体群復活事業の一環として野生の雌の産んだ無精卵と飼育下有精卵の入れ替え事業が行われることが決定しました。環境省信越自然環境事務所から、この事業に用いる飼育下有精卵の提供について依頼があり、以下のような基準をもとに提供する有精卵を選定いたしましたので報告します。

1. 有精卵の提供条件

- (1) 最大提供卵は、全体で8卵とする。(野生ライチョウでの一腹抱卵確認卵数が8卵)
- (2) 提供卵が4卵以下の場合は、卵の入れ替えは中止する。
- (3) 候補卵が複数個あるときは遺伝的多様性を考慮し選択する。
- (4) 飼育下繁殖に影響を与えないことを考慮して、1園館最大4卵までとする。

2. 提供有精卵の選択基準

- (1) 雄との同居中に交尾を確認した雌が産卵した卵であること。
- (2) なるべく卵提供日に近い日に産卵した卵であること。
理由：卵の入れ替え日が未定のため、なるべく貯卵期間が短くなるよう配慮するため。
一般的に貯卵期間が2週間を超えると孵化率が下がるといわれている。
- (3) 産卵雌の産卵前期の卵であること。
理由：産卵後期の卵は孵化率が低下するため。
- (4) 卵重およびサイズ(長径×短径)を測定し、サイズが平均的なサイズである(大きすぎず、小さすぎない)こと。
理由：乗鞍岳から採取した卵および2017年から行っている飼育下繁殖で得られた卵の卵重およびサイズと大きく異なる場合は、卵の性状が悪いと判断されるため。

3. 提供有精卵数について

園館名	提供卵数	繁殖ペア				備考
		性別	血統登録簿 番号	孵化年	孵化園館	
那須どうぶつ王国	3 卵	雄	N11	2016 年	上野	5/26(2 卵目)5/29(3 卵目), 6/2(4 卵目)
		雌	N49	2017 年	那須	
恩賜上野動物園	2 卵	雄	N14	2016 年	富山	5/29(1 卵目), 6/2(2 卵目)
		雌	N27	2017 年	上野	
いしかわ動物園	2 卵	雄	N16	2016 年	富山	5/31(1 卵目), 6/3(2 卵目)
		雌	N32	2017 年	大町	
市立大町山岳博物館	1 卵	雄	N20	2016 年	大町	6/4(2 卵目)
		雌	N24	2017 年	大町	
富山市ファミリーパーク	—					基準該当卵なし
合計	8 卵					

例年に比べた今年の産卵時期について

飼育下での産卵時期については、2019 年とほぼ変わりませんでした。